



各 位

会 社 名 寿スピリッツ株式会社
(URL <http://www.okashinet.co.jp/>)
代 表 者 名 代表取締役社長 河越誠剛
(コード：2222 東証第二部)

「栃の実」に含まれるポリフェノールの光障害に対する網膜保護作用について

～2013年7月13日 第24回眼科酸化ストレス研究会で発表～

当社のグループ会社であります寿製菓株式会社（鳥取県米子市 代表取締役社長 山内博次）は、主力商品の「とち餅」や健康茶の「栃の実茶」の原料である「栃の実」に含まれているポリフェノールの光障害に対する網膜保護作用について、第24回眼科酸化ストレス研究会で発表いたしました。

近年、パソコン、スマートフォンなどの普及により、眼は日常的に光刺激を受けやすい環境になってきております。眼は強い光刺激にさらされると、酸化ストレスに暴露されます。この結果、眼は網膜組織の損傷、機能の低下などの光障害を受けます。これらの光障害の緩和には抗酸化物質が有効であると考えられています。

当社は、以前に製菓原料である栃の実（トチノキ種子）の種皮に、多くのポリフェノールが含まれていることを明らかにし、それらの抗酸化性について2008年にJournal of Agricultural and Food Chemistry, 56 巻, 12046-12051頁で発表いたしました。2012年からは、島根大学医学部眼科学講座と共同研究を行い、抗酸化物質である栃の実ポリフェノールの光障害による網膜保護作用について検討してまいりました。本研究では、光障害モデルラットを用いて、栃の実ポリフェノールを与えた試験群と与えない試験群について網膜の機能を反映する網膜電位の測定と、網膜組織の形状的变化を評価しました。

この結果、栃の実ポリフェノールは光照射による網膜機能の低下と網膜組織の障害を緩和する可能性が示唆されました。

○演題： トチノキ種皮ポリフェノールの光障害に対する網膜保護作用

○発表者： ○石原朋恵^{1,2}、海津幸子¹、木村英人²、横田一成³、大平明弘¹

1島根大学医学部眼科学講座、2寿製菓株式会社、3島根大学生物資源科学部生命工学科

○講演日時： 2013年 7月 13日 14:00-17:00

○場所： アクトシティ浜松コンgresセンター

【本リリースに関する問合せ先】

寿製菓株式会社 研究開発部 部長 木村英人 鳥取県米子市旗ヶ崎 2028/TEL 0859-22-7456

以上